

九州王者は福岡大附属大濠高校！ 中高大が激突した頂点決戦 ～第32回九州チアリーディング選手権大会～

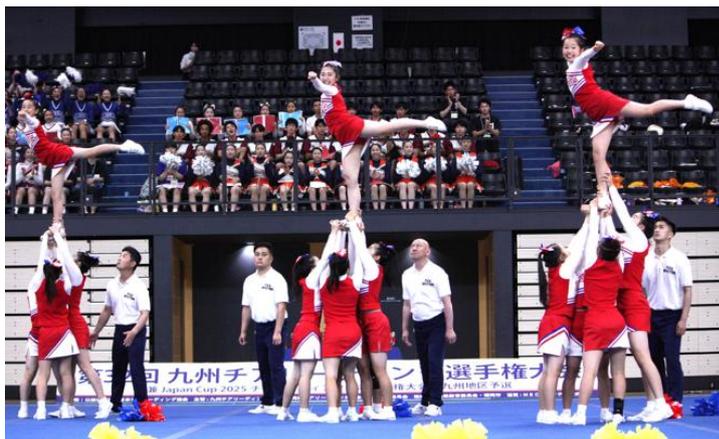


JAPAN CUP 2025 日本チアリーディング選手権大会の出場権をかけた地区予選「第32回九州チアリーディング選手権大会」が、6月29日（日）福岡市総合体育館にて開催された。九州各県そして沖縄から64チームがエントリーし、小学生から社会人まで多様なカテゴリーで熱戦が繰り広げられた。

今大会の自由演技競技で最も高得点を獲得し、総合優勝を手にしたのは、福岡大学附属大濠高等学校（福岡県）。

全員男子選手というチーム編成ならではの力強いスタuntsやタンブリングで観客を盛り上げ、初の九州王者に輝いた。

【自由演技競技・部門別ハイライト】



【中学校の部】

ふくおかジュニアチアリーディングクラブ（福岡県）が、躍動感あるタンブリングと緻密な構成で初優勝。

観客を魅了しながら、九州の中学校の部に新たな風を吹き込んだ。

昨年の総合優勝である福岡南キッズチアリーディングクラブ（福岡県）

も、連覇を目指し気迫ある演技を披露し準優勝。ジュニアチアリーディングチームバニーズ（福

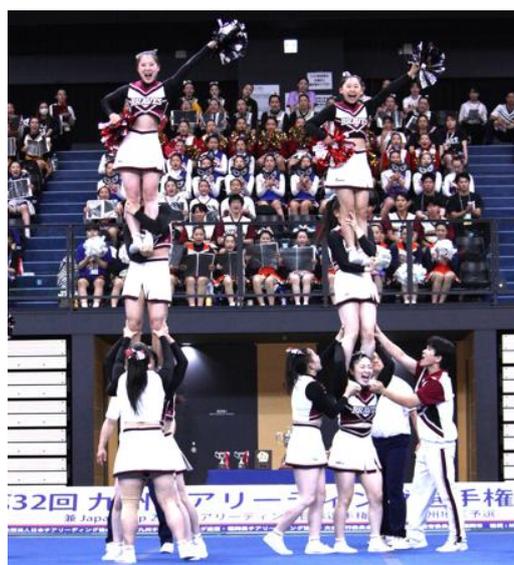
岡県)、ワールチアリーディングチーム(福岡県)も安定した構成力を見せ、4チームそろってJAPAN CUP出場権を獲得した。

【高等学校の部】

初優勝の福岡大学附属大濠高等学校に続き、福岡工業大学附属城東高校(福岡県)と神村学園高等部(鹿児島県)が、互いに高難度のスタuntsと表現力を競い総合2位・3位となりJAPAN CUP準決勝進出。総合4位以下、福岡県公立古賀竟成館高等学校(福岡県)、興南高等学校(沖縄県)、筑陽学園高等学校(福岡県)、九州産業大学附属九高等学校(福岡県)が、フライデートーナメントへの出場権を獲得した。

【大学の部】

日本文理大学(大分県)が堂々の優勝。シャープで統制の取れた演技に加え、勢いのあるタンブリングと連続性のあるスタuntsで存在感を放った。西南学院大学(福岡県)、九州大学(福岡県)、総合2位・3位と続き、フライデートーナメント出場権を獲得。3チームともに、JAPAN CUP決勝進出を狙う活躍が期待される。



【社会人の部】

福岡チアリーディングクラブ(福岡県)が出場。ミスはあったものの、男女混成(ミックス)チームならではのパートナースタuntsやバスケットトスで躍動感を兼ね備えた演技を披露。観客から惜しめない拍手が送られた。

【小学校の部】

小学校低学年の部では、ワーサルチアリーディングチームが優勝。ジュニアチアリーディングチームバニーズが準優勝、福岡南キッズチアリーディングクラブが第3位と続いた。

小学校高学年の部でもワーサルチアリーディングチーム・Aが優勝。福岡南キッズチアリーディングクラブが準優勝、ワーサルチアリーディングチーム・Bが第3位となった。



小学校高学年の部では安全規則違反による減点が目立った。定められたルール内での演技の実施はいうまでもないが、安全に技術を実施することに対する意識づけの機会とし、今後に生かしてもらいたい。

エキシビションでは、個性豊かな演技が次々と披露され、若年層の選手たちが持ち前の元気よさと創造力で会場を盛り上げた。

ベストマナー賞は、福岡工業大学附属城東高等学校（福岡県）、規定演技競技総合1位は、九州大学が獲得した。

今年も、九州の地で熱戦が繰り広げられ、選手たちは日々の練習の成果をこの日にぶつけ、観客の皆様に「元気・勇気・感動」を届ける演技を披露。JAPAN CUP 2025へと続くこの大会は、すでに次の戦いへの熱気に包まれている。

本サイトの記事、写真の転載はご遠慮ください。無許可の転載・複製は法律により罰せられます。

Unauthorized reproduction or duplication is punishable by law.